

中山 金一 議員



## 側溝等公共工事の 優先順位は公平か

**問**

18年度は公共工事が数多く行われたが、一部の地域ばかり優先され、市民から公平ではないとの声を聞いたが、十四山地区の17・18年度の大字ごとの事業実績を示してほしい。

**答** 開発部長

複数地域をまとめて発注しているため大字単位では算出が難しい。

18年度の合計は12件6300万円、道路改良や側溝、舗装、交通安全施設整備工事等を行った。

**問**

一地区に固めて工事をせず、各地域を均等に工事願いたい。

また、公平性の観点から、19年度は18年度でやっていないところを優先的に検討してもらいたい。どうか。

## 未施工地域を 優先して検討したい

**答** 市長

事業箇所は18年11月に区長等の要望を取りまとめており、それを基に、議員の意見を尊重して検討したい。

**問**

公共工事の市の談合防止対策を尋ねる。

**答** 開発部長

以前より、設計書は鍵が掛かる場所での保管を徹底し、職員には情報の漏洩防止や談合行為がないよう周知、指導をしている。

## 巡回福祉バスの 路線見直しは

**問**

◀巡回福祉バス



と運行経路、ダイヤ等を協議している。

制約ある運行条件の中ですべての市民に満足いく方法を取るのには難しいと考える。区長等とも相談し、地域間の格差の見直し等を図りたい。

**問**

確定申告を十四山支所で行えるようにしてほしい。

**答** 税務課長

18年度は合計6日間実施したが、19年度は現在を考えていない。

**問**

書類や領収書を揃えれば、職員がパソコンに打ち込んで申告してもらえないかならないか。

**答** 税務課長

会場で職員1人が同時に6人を対象に申告の指導を行っており、申告対象者も約4000人いるため、そのような対応はできない。

## 区長等と相談し 地域間格差の見直しを

**答** 総務部長

路線見直しは、三重交通

十四山地区において停留所の増加と、近鉄佐古木・弥富駅、市役所、海南病院へ利用しやすいよう路線見直しをしてほしい。

また、路線の見直しは誰が行うのか、市民の意見はどうやって聞くのか。